



「浸水被害から市民を守る」

下水道施設は、公衆衛生が向上する汚水施設と、浸水対策として雨水の排除を担っている雨水施設があり、下水工事課では、下水道計画を基に必要な施設の建設を行っています。

一つの施設を建設するにも多額の費用が必要であり、自分の所属を超えて、市役所内外の様々な組織と協力し、計画から工事までの連携が必須です。指示を待っているのではなく、自ら考えて積極的に連絡調整した結果、組織として大きな工事を完遂できることは大きなやりがいになります。

現在は、担当地区の浸水対策のため道路側溝などに集まった雨水を河川へ排除する施設の整備を担当しています。

岡崎市は平成20年8月末豪雨で大きな被害を受けましたが、近年全国で同様な被害が多発しており、いつ被害が起きてもおかしくない状況です。組織の目標である「岡崎市の浸水被害の軽減」のため、雨水施設の整備を確実に進めていきます。

上下水道局上下水道部
下水工事課

牧野雄大
(技術職・平成29年度採用)

